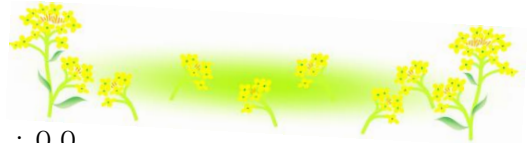


岩手ようごの会 第2回実践交流会開催の報告

平成27年1月30日

岩手ようごの会 代表 堀籠ちづ子

「岩手ようごの会」第2回実践交流会は、平成27年1月24日（土）に開催しました。今回のテーマは、「救急車要請に伴う養護教諭の判断」、参加者の持つ事例について情報交換と協議を行い、実践を交流しましたので、その様子を報告します。



1 開催日時・場所・参加人数

*開催日時 平成27年1月24日（土） 10:00～14:00

*場所 アイーナ6階団体活動室3 *参加人数 午前の部20名、午後の部12名

2 実践交流会、午前の部の様子

*時間 10:00～12:00

テーマ：「救急車要請に伴う養護教諭の判断」・・・救急処置事例検討

【内容】

参加者の皆さんは、グループに分かれて自分が経験した救急車要請の事例を記入する作業からスタート。内容は①迷わず要請した事例、②迷ったが要請した事例、③迷ったが要請しなかった事例の3種類について、症状、養護教諭の見立て、受診結果を記入。（左下 図）



その後、グループ内で、

- ・なぜ迷ったのか、
 - ・要請を決めた要因は何か、
 - ・なぜ要請しなかった（できなかった）のか、
- 情報交換を行いました。

次に、高教研学校保健部会盛岡支部が作成した救急車要請の判断等を盛り込んだ、「危機発生時における対応フローチャート」の紹介を行い

再度、**救急車要請を迷ったときにはどうすればよいか、迷わないためにはどうすればよいか、救急車要請の判断において重要なことはなにか**について協議と発表を行いました。参加者の皆さんの事例を通じて、「救急車要請に伴う養護教諭の判断」について、学びあうことができました。

《まとめとアンケートから》

まとめから 抜粋

生命の確保を念頭に、適切な医療を早く受けさせる役割を私たちは持っている。専門的な判断ができる知識の修得、的確な事実関係の確認、組織対応の構築、事例の評価と改善、等々をまとめた。

感想 Aさん

テーマは、養護教諭という立場、視点での判断に焦点があり、良かった。情報交換では、一人一人の持ち時間でまとめて話すことはとても大切で、良いと思った。学校に一人の専門職なので、日々迷いや不安があります。こうして、情報交換、交流ができると、安心・自信につながります。

感想 Bさん

まだ、経験のない事例を検討することができ大変参考になりました。迷った事例について評価をすることで、これからの対応を、より適切・的確にできるようにしたいと思いました。たくさん事例を聞き、これからの心構えもできました。

感想 学生Cさん

現場の先生方が体験した実際の事例について学び、とても勉強になりました。教職員との関係作りや、日常的に生徒の様子を知ること等、重要な点は、どのような場面においても重要なのだと実感しました。

お知らせ 2015年度、実践交流会の予定

新年度は、6月、8～9月、11月、1月、アイーナにて開催を予定しています。詳細は、養護教諭部会様ホームページに掲載をお願いする予定です。ご参加をお待ちしております。